

【会 告】

第48巻3号に掲載された論説・添付地図解説及び添付地図の取り下げについて

日本国際地図学会編集委員会

2010年12月17日付けで、日本国際地図学会長宛に2通の文書が届きました。1通は安村 茂樹、中井達郎、島崎 彦人、柴田 剛4氏の連名で、2010年9月9日付けで受理され、第48巻3号に掲載された論説・添付地図解説「GISを用いた南西諸島生物多様性優先保全地域地図の作成と活用」を取り下げたい、というもので、もう1通は財団法人 世界自然保護基金 ジャパン会長 徳川恒孝氏より、第48巻3号に添付された「南西諸島生物多様性優先保全地域地図」を取り下げたい、というものでした。

取り下げの理由は；

(論説・添付地図解説について)

この論文執筆のきっかけとなったWWFジャパンの「南西諸島生物多様性評価プロジェクト報告書」は、著者らを含め、40名以上の関係者の長年に渡るアイデアやデータ提供により出版に至った(発行日2009年11月)ものである。今回の論文掲載後、参加した研究者より、「当該論文はプロジェクトにデータ・アイデアを提供した者全員の合意に基づいて準備されておらず、そのため倫理的に深刻な問題を伴っており、既刊の報告書のオリジナリティを損ねるものである」との指摘があった。共著者間で協議の結果、報告書の執筆者である研究者に対して事前に共著への意思確認、投稿内容の相談をせずに、論文が査読付きの、初出の、原著論文の形で発刊されたことは、配慮不足であったとの認識に至り、当該論文の取り下げをお願いするのが妥当との判断に至った。

(添付地図について)

この地図は「南西諸島生物多様性評価プロジェクト報告書」の一部をWWFジャパンが複製し、「地図」の添付地図として日本国際地図学会に提供したものであ

る。しかし、同報告書の作成にデータ・アイデアを提供した関係者全員に地図添付の合意を得ておらず、倫理的に深刻な問題を伴っていることから、提供を取り下げることにした。

とのことです。

当学会機関誌「地図」投稿規程においては、「既発表の著作物と内容的に重複するものであっても、「地図」にふさわしく書き直されたものは投稿可能とする。」との規定があります。編集委員会では、当該投稿原稿の予備審査及び査読に当たって、同原稿は、「南西諸島生物多様性評価プロジェクト報告書」の内容と重複するが、GISによる分析や地図化の過程などが詳細にまとめられ、「地図」にふさわしい内容に書き直されているものと認め、受理し、掲載したものです。また、添付地図に関しても、編集委員会において「地図」の添付地図としてふさわしいものと認め、添付したものです。

しかしながら、論文著者及び地図提供者の事情を考慮すると、本件について申し出の通り取り下げを認めることはやむを得ないと判断しました。

したがって、本学会としては、下記の通り取り扱うこととします。

1. 安村 茂樹、中井 達郎、島崎 彦人、柴田 剛 2010. GISを用いた南西諸島生物多様性優先保全地域地図の作成と活用. 地図48(3):12-20. の受理、掲載を取り消す。
2. 「南西諸島生物多様性優先保全地域地図」は第48巻3号の添付地図とはしない。

会員の皆様、本誌をご購読の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、今後、これらを論文、添付地図として引用されることのないよう、お願いいたします。

Retractions of an original article and an attached map of the journal "Map" Vol.48 No.3

by Editorial Committee of the Japan Cartographers Association

In response to the requests for the retractions from the authors of an original article and explanation of attached map "Yasumura, S., Nakai, T., Shimazaki, H. and Shibata, T. 2010. GIS-based Biodiversity Mapping in the Nansei Shoto Ecoregion. Map 48(3):12-20." and from the presenter of an attached map "Nansei Shoto

Ecoregion Map" due to a substantial ethical fault in their preparations, the Editorial Committee of the Japan Cartographers Association (JCA) have concluded upon their invalidation. Above mentioned article and attached map shall not be referred to as the publications in the journal "Map" hereafter.